

社会福祉法人「希望の家」令和7年度

第2回 運営協議会（地域連携推進会議）議事録

1. 日 時 令和7年12月8日(月) 午後1時20分～15時25分
2. 場 所 兵庫県宝塚市安倉西3丁目1番5号
希望の家ワークセンター 1階会議室
3. 出席者 運営協議会委員総数 5名
運営協議会委員出席者 4名
運営協議会委員 辰巳 佳成・柳 恭子・北尾 敏浩・辻井 陽子
欠席委員 庄 宏哉
施設利用者 H氏・F氏
(希望の家ワークセンター利用者)
理 事 長 蓬萊 元次
常務理事 福島 真司
法人職員 江頭 真弓・井原 義博・霜 亨・筒井 健太
宝塚市からの出席者 路熊 有為子・加藤 弘毅
(宝塚市障害福祉課 福祉サービスチーム)
4. 施設内見学
5. 利用者との意見交換
6. 協 議
 - 1) 議事録署名人の指名
 - 2) 法人事業の説明
 - (1) 施設・事業所の利用者等の状況について
 - (2) 令和7年度上半期施設利用者の満足度調査について
 - 3) 意見聴取
7. 報 告
 - 1) 障害児通所支援事業所「きぼうっこ山本」改築整備及び相談支援事業所併設について

8. 議長 理事長 蓬萊 元次

9. 議事録作成者 筒井 健太

10. 議事の経過の要領及びその結果

蓬萊理事長のあいさつの後、福島常務理事が委員の出席状況を確認し、委員定数 5 名中 4 名の委員が出席していることを報告した。なお、庄委員は、日程調整直後に所属法人の重要会議が入ったことにより事前に欠席の連絡が入ったことが合わせて報告された。

また、今回初めて障害福祉基準省令の改正により施設所管の市町担当者として宝塚市から障碍福祉課の担当者である路熊氏、加藤氏が出席されており紹介がなされた。

4. 施設内見学

施設内見学を実施。見学では、2 階の日中活動室で実施されている現存機能維持のためのリハビリや生産活動、創作活動について相談兼生活支援主任 T から説明がなされた。

日中活動室で利用者支援をしていた 3 年目の職員 O を交え、利用者が取り組んでいる創作活動内容や利用者との関係づくり、困った時の対処法などについて意見交換がなされた。O から聾啞の利用者が多いためコミュニケーションが困難な場面もあるが、積極的に関りを持ち信頼関係を築くことにより少しづつ理解を深めることができていることや、困った時にはインカムを通じて職員間ですぐに相談や情報共有が出来るので、安心して利用者支援ができていると説明がなされた。辻井委員から、日中活動室で創作活動に取り組む利用者の表情や生き生きとした様子を見ていると、利用者の皆さんのが毎日楽しく生活されている様子が想像できる、と意見が述べられた。

居住棟の見学では、医務室や浴室、短期入所利用者の居室などを見学し、医師による診察や重度障害者への入浴支援、短期入所や通所利用者の利用状況などについて説明がなされた。

5. 利用者との意見交換

施設内見学後 1 階会議室に戻り、ワークセンター利用者の H 氏（50 歳、男性、脳内出血による高次脳機能障害）と F 氏（52 歳、女性、硬膜下血腫、左上下肢機能全瘻）が出席し委員と意見交換を実施。

「施設の生活はいかがですか」の質問に、H 氏から日々いろんなことに取り組めることや、妻や息子の運転で病院受診に行けるので満足しており、施設での困りごとは特にないと回答があった。宝塚市障害福祉課加藤氏から「一日の活動スケジュールを教えてください」の質問に、F 氏から朝礼や食事の時間、日中活動やおやつの時間など一日のスケジュールについて回答があった。「嬉しいことや困ったこと、施設での楽しみは」の質問に、F 氏から明日からの一

泊旅行がすごく楽しみで、観光バスの乗降がスムーズに出来るようリハビリを頑張っていると回答があった。柳委員から、以前サンホームにいたF氏と久しぶりに会えて嬉しかった。すごく良い雰囲気で元気でいられるのも、職員の丁寧な対応など希望の家の中にあふれる優しさのおかげだと思うと意見があり、辻井委員からは、利用者の皆さんのお溢れる笑顔から初めて出会った人を受け入れる心の余裕があると感じられた、と意見が述べられた。

「好きな余暇活動は何ですか」との宝塚市障害福祉課路熊氏の質問に、F氏はカラオケ、H氏はめまい予防のために医師から言われた毎日の運動を続けること、と回答があった。他の出席委員に質疑等の意見がないか求めたところ、特に質疑等がなかったため意見交換は終了した。

6. 協議

福島常務理事から、北尾委員及び辻井委員に議事録署名人にお願いするとともに、議事録については公開が義務付けられていることから、法人ホームページで公開する旨の報告がなされ、理事長が議長となり議事に入った。

法人事業の説明として、施設・事業所の利用者等の状況及び令和7年度上半期施設利用者の満足度調査について、資料に基づき説明がなされた。

柳委員から、「希望の家は盆踊りや運動会などたくさんの行事があり、利用者は毎回楽しみにしている。行事を通じて地域との繋がりを大切にしていることは保護者として非常にありがたい」との意見に、辰巳委員から、「玉瀬地域の子供たちは、幼い頃から利用者の皆さんと交流を深めているおかげで、障害に対して差別や偏見なく育っている。希望の家との繋がりは、地域にとっても非常にありがたいことです」と意見があった。続けて、「多くの施設では介護人材の不足等により、利用者とのコミュニケーションの時間が十分に確保できないと聞くが、希望の家ではどのようにして利用者とのコミュニケーションを充実させているのか」と質問があった。蓬莱理事長から、普段から力を入れている日中活動の時間を利用して積極的な会話を心掛けていることや、各担当職員が利用者の気持ちに寄り添って傾聴する時間を大切にしている、と説明がなされた。

続いて、障害児通所支援事業所「きぼうっこ山本」改築整備及び相談支援事業所併設について、資料に基づき報告がなされるとともに、その他として、若手職員を中心としたSNS活用による法人の情報発信プロジェクトや、福祉DX推進によるAIに関する人材育成研修の開催など、希望の家の先駆的な取り組みについて報告がなされた。宝塚市障害福祉課路熊氏から、きぼうっこ山本に併設される相談支援事業所の主な対象者は児童かと質問があり、蓬莱理事長から、断らない相談と待たせない相談をモットーにしていることから、地域貢献の意義も含め子供から大人まですべての人を対象としていると回答があった。

以上、議長は協議及び報告事項、意見交換など本日の運営協議会（地域連携推進会議）で予定されていたすべてが終了した旨を告げ、午後3時25分に閉会した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、議事録を作成し次のとおり署名する。

令和7年12月22日

社会福祉法人 希望の家

議事録署名人

理 事 長 : 蓬 莉 元 次 印

運営協議会委員 : 北 尾 敏 浩 印

運営協議会委員 : 辻 井 陽 子 印

議事録作成者 : 筒 井 健 太 印